

フジアザミ *Cirsium purpuratum* (Maxim.) Matsum.

【評価理由】

日本列島で多くの種に分化しているアザミ属の 1 種で、愛知県は分布の南西限である。県内では過去に採集された標本はあるが、現存を確認できない。

【形態】

大型の多年生草本。根は太く、食用になる。葉は束生し、花時にも多くの根出葉があり、楕円形で羽状に中～深裂、長さ 50～70cm に達し、先端は鋭頭、基部は次第に細まって柄になり、白くも毛がある。花期は 8～10 月、花茎は分枝して高さ 50～100cm になり、頭花は枝の先端について下を向いて開き、総苞は扁球形で直径 6.5～8.5cm、総苞片は幅 5～9mm で紫色、縁に小刺針があって反曲する。小花はすべて筒状花、花冠は紅紫色、そう果には長い冠毛がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山（大沼林道，井波一雄 s.n., 1964-9-27, TNS）で採集された標本がある（井波 1965 参照）。この標本の写真は長谷川（2005）に掲載されている。鳥居喜一氏によれば、佐久間ダムに水没する前の天竜川の礫の河原にも生育していたそうである。また大原（1984）は、「津具村天狗棚近くの道路脇に 1 株を発見した」と報告している。写真も掲載されており、その写真は確かにフジアザミである。

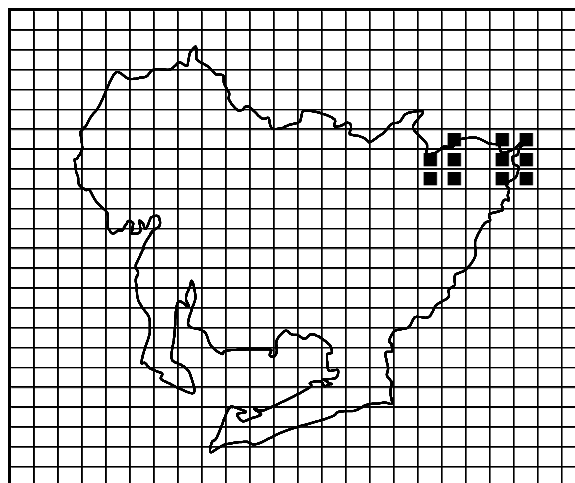
【国内の分布】

本州（関東地方、中部地方）に分布する。富士山の周辺に多い。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の崩壊地や河川敷などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【過去の生育状況／絶滅の要因】

天竜川にどの程度の量があったかは、情報がなく、はっきりしない。佐久間ダムの建設により水没し、絶滅したらしい。

【保全上の留意点】

もともとあったという場所は失われているが、隣接する静岡県、長野県内では比較的多い植物なので、津具の記録のように林道の路傍などの攪乱地で再発見される可能性は残されている。

【特記事項】

他のアザミ類とはかなり異なる形態を持つ、特徴的な種である。

【引用文献】

長谷川道明(編). 2005. よみがえれ！愛知のいきものたち p.81. 豊橋市自然史博物館, 豊橋.
井波一雄. 1965. フジアザミ *Cirsium purpuratum* Matsum. 愛知県に算す. 植物採集ニュース(17):25.
大原準之助. 1984. 植物新分布報告 第 13 報. 植物研究集録 21: 62-66.

【関連文献】

保草本 I p.32, 平草本III p.215, 平新版 5 p.224, SOS 旧版 p.85.